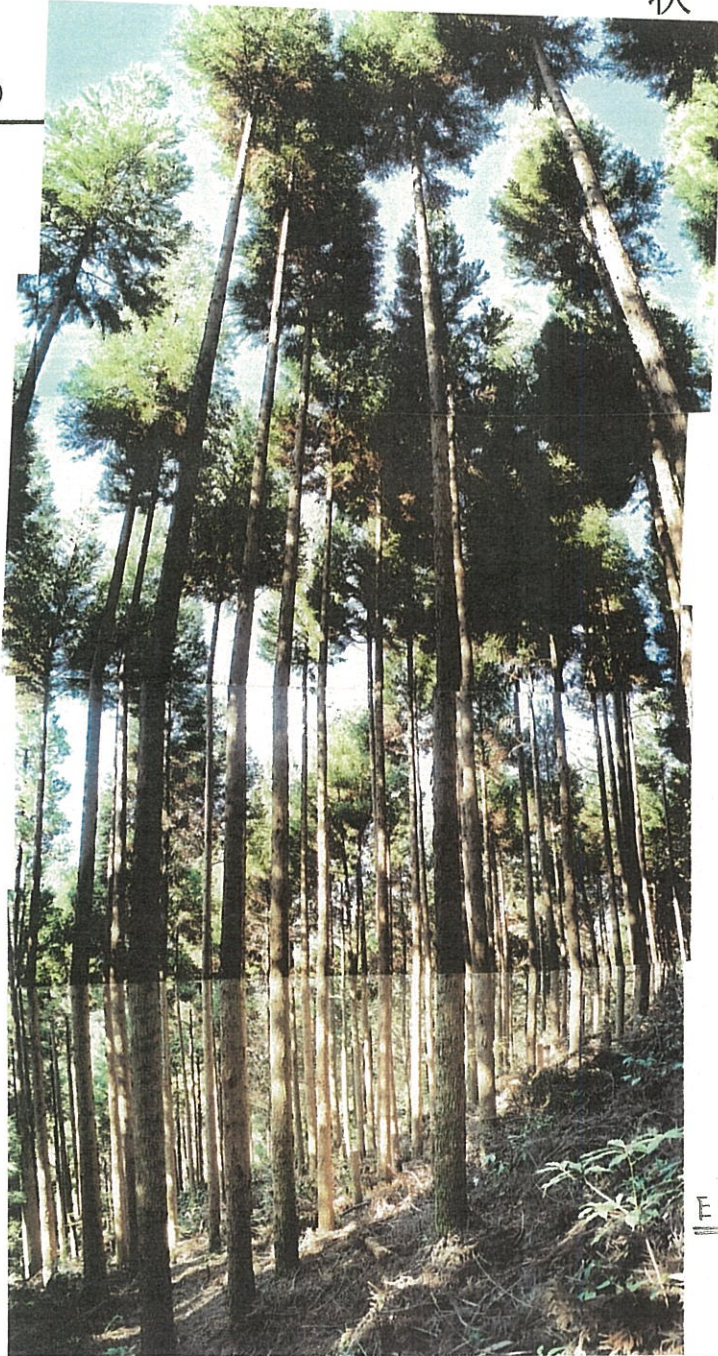


状 況 記 録 写 真

(様式6)

区分	41
----	----

森林技術センター



E-2 同撮り

F-2 同撮り

枝打後の状況 H15.12.1

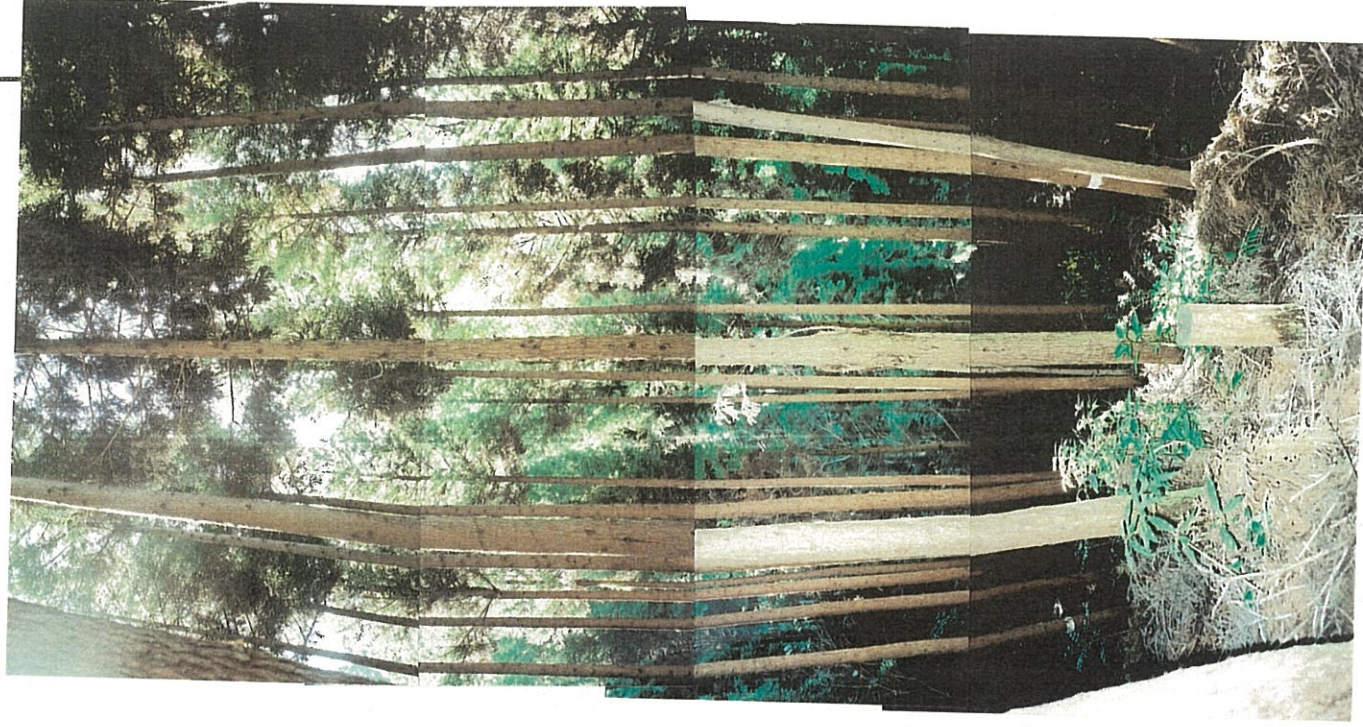
状況記録写真

(様式6)

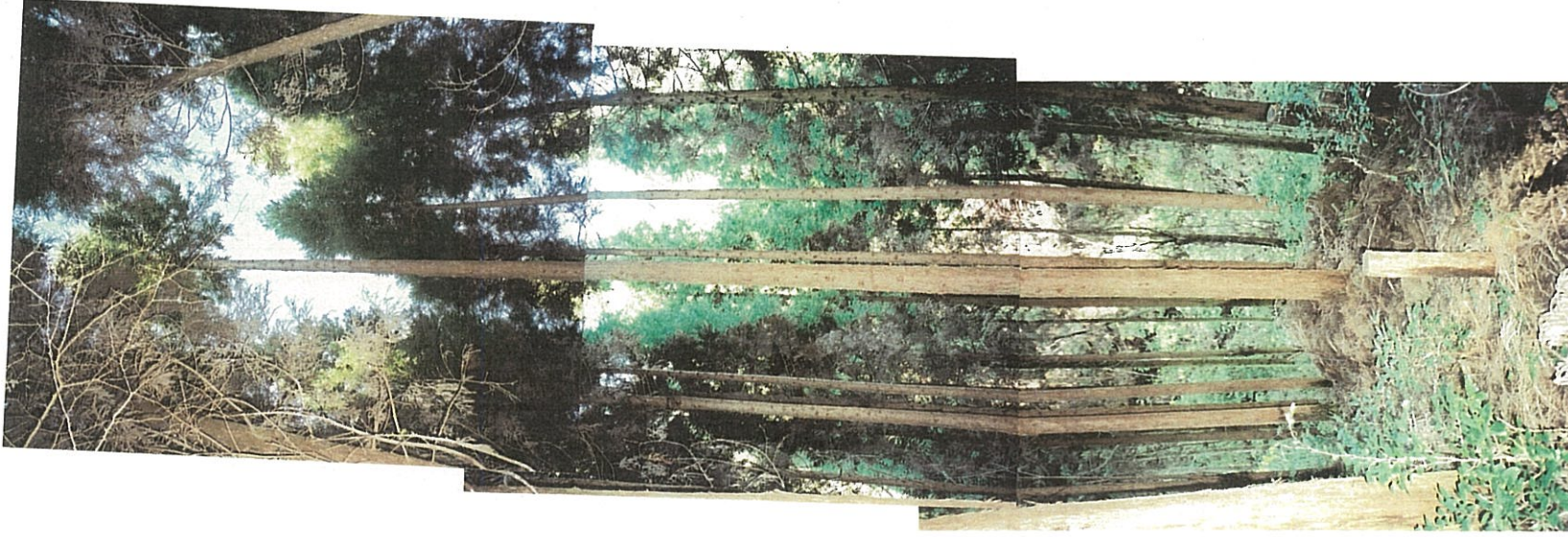
区分

41

森林技術センター



C-3 同撮り



枝打後の状況
H15.12.1

C-2 同撮り

状況記録写真

(様式6)

区分

4/

森林技術センター



H-2 同撮り



H-2 同撮り

枝打後の状況

H15.12.1

状況記録写真

(様式6)

局控出(ない) (センター保管)

区分

41

森林技術センター



枝打後の状況

H15.11.14 撮影

状況記録写真

(様式6)

局提出しない。(センター保管)

区分

4ノ

森林技術センター



枝打後の状況

H15.11.14撮影

状況記録写真

(様式6)

区分

4/

森林技術センター

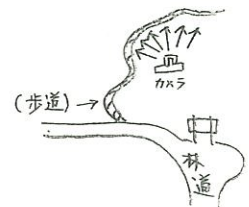


枝打後の杯内陽光の状況と下層植生

H15.12.1

撮影

(林道から歩道へ上り正面)



状況記録写真

(様式6)

区分	4/
----	----

森林技術センター



枝打機(やまびこ)の安全指導等「宮崎機械 日高 誠」

H15.10.8.

状況記録写真

(様式6)

区分

41

森林技術センター



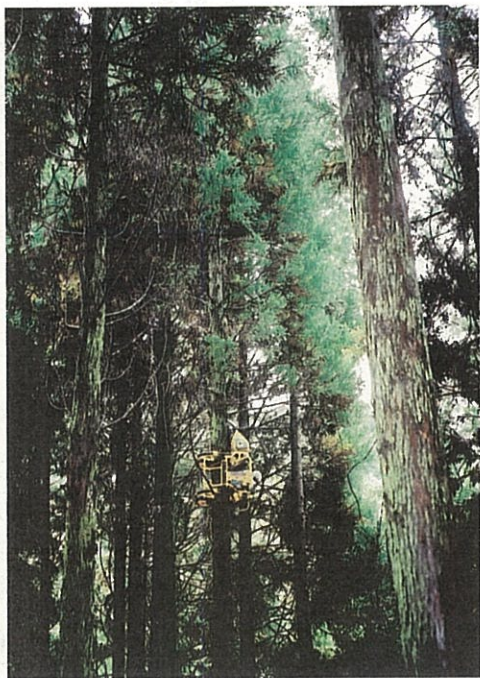
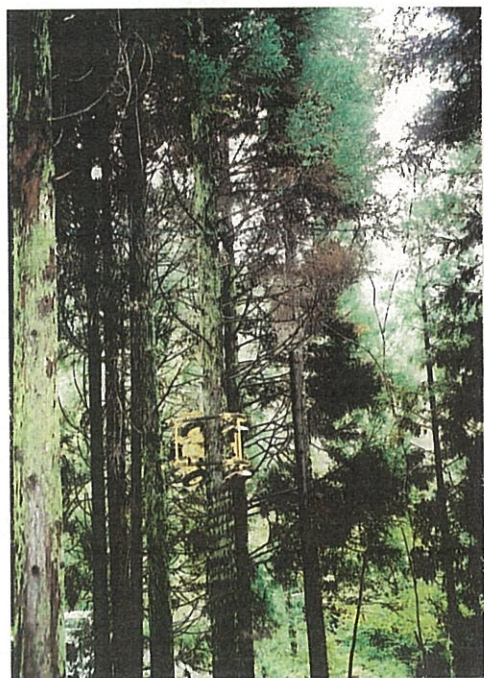
枝打機(やまびこ)操作状況 H15.10.8

状況記録写真

(様式6)

区分	4/
----	----

森林技術センター



枝打機(やまびこ) 操作状況

H15.10.8

状況記録写真

(様式6)

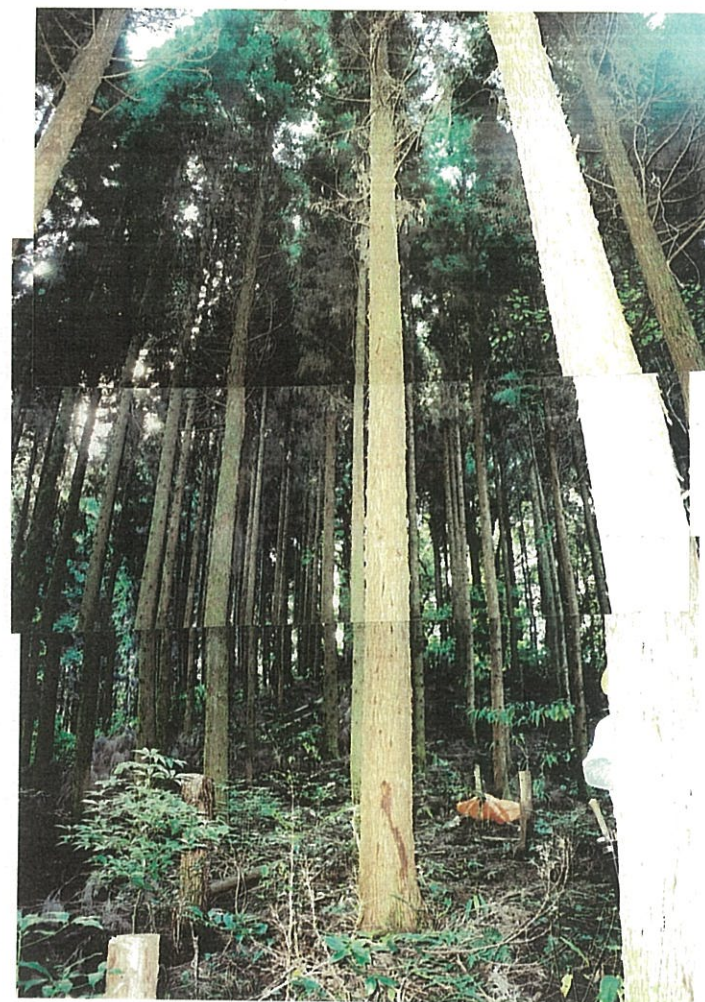
区分

41

森林技術センター



G-1 同撮



枝打作業中 H15.10.16

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課 題	41 人工林から育成複層林（天然林型）へ誘導する施業技術の確立（施業指標林設定）				開 発 期 間	平成12年度 ～ 平成67年度		
開 発 箇 所	野崎国有林 239に3林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機	技 術 開 発 目 標	1	特 定 区 域 内	○
開 発 目 的 (数 値 目 的)	人工林において、間伐を繰り返しながら育成複層林（天然林型）へ誘導することにより水土保全等の公益的機能及び、保育等の効率的な森林保全管理技術の確立を図るために施業指標林を設定する。							
年 度 別 実 施 報 告	16年度 実 施 報 告				17年度 実 施 計 画 書			
	実 施 内 容				普 及 指 導			
平成12年度 ①試験地設定 ②保育間伐 ③林内照度調査 ④試験地標示 平成13年度 ①林内照度調査②試験地管理 平成14年度 ①枝打（人力） 平成15年度 ①枝打（枝打機械使用）	実施事項なし				下層植生の発生が少ないので、照度アップ等の更新補助作業が早急に必要。			
技術開発委員会における意見								

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課 題	41 人工林から育成複層林（天然林型）へ誘導する施業技術の確立（施業指標林設定）			開 発 期 間	平成12年度～平成67年度 変更期間 平成12年度～平成41年度		
開 発 箇 所	野崎国有林 239に ³ 林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 関 機	技 術 開 発 目 標	1	特 定 区 域 内 外 <input type="radio"/>
開 発 目 的 (数 値 目 的)	人工林において、間伐を繰り返しながら育成複層林（天然林型）へ誘導することにより水土保全等の公益的機能及び、保育等の効率的な森林保全管理技術の確立を図るために施業指標林を設定する。						
年 度 別 実 施 報 告	17年度 実 施 報 告				18年度 実 施 計 画 書		
	実 施 内 容		普 及 指 導		1 間伐 2.04ha 2 林内照度測定（間伐実施前・後） 3 植生調査 4 試験地管理 開発期間を変更		
平成12年度 ①試験地設定 ②保育間伐 ③林内照度調査 ④試験地標示 平成13年度 ①林内照度調査②試験地管理 平成14年度 ①枝打（人力） 平成15年度 ①枝打（枝打機械使用）	実施事項なし		下層植生の発生が少ないので、照度アップ等の更新補助作業が早急に必要。				
技術開発委員会における意見							

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

課題NO. 41 (野崎 239 に 3 林小班)

「人工林から育成複層林 (天然林型) へ誘導する施業技術の確立 (施業指標林設定)」

1 面積

(1) 試験地台帳

面積 2.04ha 内訳 スギ 1.57ha
ヒノキ 0.47ha

(2) 森林調査簿

面積 3.42ha 内訳 スギ 1.47ha
ヒノキ 1.78ha
他 広 0.17ha

2 試験事項

- (1) 間伐 列状間伐
- (2) 間伐率 (材積率) 40~50%区、30%区
伐界幅 6m、8m
- (3) 林内照度測定 作業実施前・作業実施後
- (4) 調査プロット設定 林床変化観察

3 調査事項

試験地内のスギ・ヒノキの全木の本数・胸高直径及び樹高 (標準地調査法) を調査し、間伐率にあった間伐木を選木する。また、間伐前・間伐後の照度を測定する。

(1) 間伐 (列状間伐)

① 収穫調査

本数・胸高直径 (毎木)・樹高 (標準地調査法) を全木調査する。胸高部にナンバーテープ表示。

② 間伐木選木

間伐率 (材積率) 40~50%区、30%区内の間伐木の選木 (胸高部に白テープ表示)

③ 作業道計画

試験地センター部分に設定

(2) 林内照度測定 (照度調査は8~9月が適期)

① 作業実施前

標準地調査プロット内、各間伐区

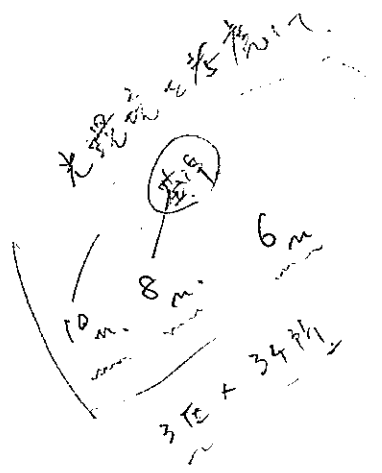
② 作業実施後

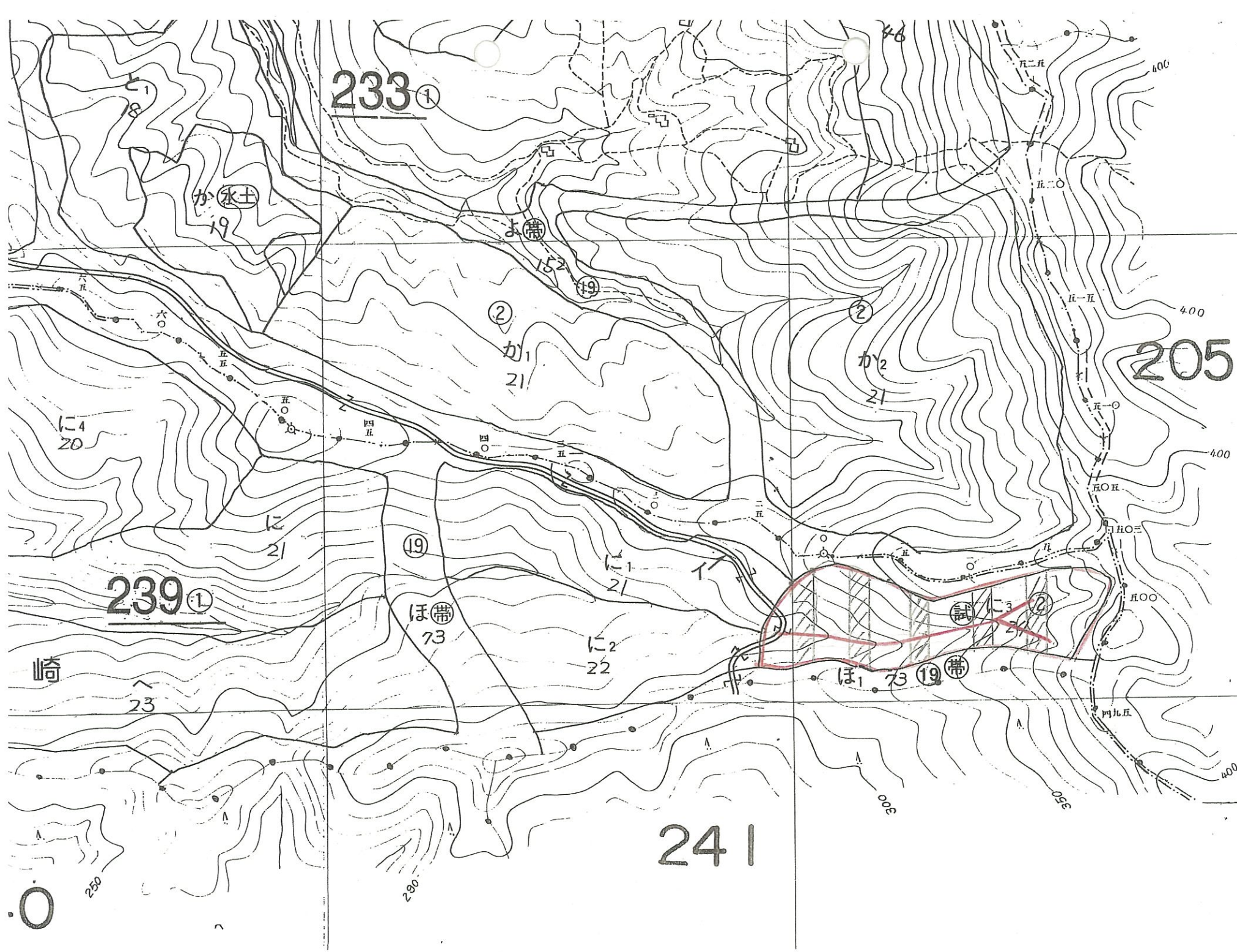
標準地調査プロット内、各間伐区

(3) 調査プロット設定

伐界幅・樹種別設定 (10m×10m) (6m×17m) (8m×13m)

6箇所程度設定予定





宮崎県宮崎郡田野

森 林 調 査 簿 原 簿

担当区 (森林事務所) : 21 屋敷

平成 14 年 3 月 31 日現在

239-0
26 宮崎

(26 宮崎)

官行造林地:

森林計画区: 148 大淀川

小 区 番 号	施 業 群 / 保 護 林 / 生 産 群 等	公 益 施 業 / 区 分 / 林 保 / 機 中 法 指 定 等	法 指 定 等 / 自 然 公 園 等 の 名 称	保 安 林 施 業 要 件 伐 採 限 度 面 積 伐 採 方 法 / 植 栽 指 定	施 業 方 法 / 細 分 / 長 期 育 成 / 林 地 等 区 分	面 積										林 況				施 業 履 歴			地 位 等				地 況				観 察 記 録	検 索	調 査 方 法	備 考				
						林 地 / そ の 他 区 分 / 合 計	面 積 ha	林 種 / 林 種 の 細 分 / 林 相	樹 種	立 木 度 / 樹 冠 疎 密 度	混 交 歩 合	面 積 歩 合	林 齢	胸 高 直 径	樹 高	ha 当 り 本 数	材 積		連 年 成 長 量	成 長 率	主 伐 年 度 / 伐 採 方 法	間 伐 年 度 / 伐 採 率 / 伐 採 量	更 新 年 度	地 位 等 級	地 位 歩 合	立 地 級	水 土 保 全 関 連 因 子								森 林 帯 標 高 指 標 / 温 度 指 標 / 降 水 量 指 標 / 林 道 か ら の 距 離	方 位 / 風 害 / 雪 害 / 霜 害	年 月 / 種 類 / 内 容 / 報 別 / 他 種	基 本 図 番 号 / 空 中 写 真 番 号
																	ha	総 数									傾 斜 / 土 壤 / 地 質	有 効 深 度 / 局 所 地 形 / 土 性 / 堆 積 型	下 層 植 生 種 類 / 被 度 / 高 さ	林 型 区 分 / 徑 級 区 分 / 層 構 造								
																	年	%									年	cm	m	本								
にH 01M L にL 01L					単 単 林	林地	380	単 密	スギ ヒノキ	21 21	14 14	5 4	108	258 152	339 188	131 124			S56			中	3 0 3	0 1 0	1 1 1	9 9 9	1 1 1	4 1 1	匍行	暖温帯南	2 0			目				
にH 02M L にL 02L					単 単 林	林地	363	単 密	スギ ヒノキ 他広葉樹	22 22 22	15 14 7	6 5 6	124	224 203 23	279 223 13	124 110 58			S55			中	3 0 3	0 1 0	1 1 1	9 9 9	1 1 1	4 1 3	匍行	暖温帯北西	2 0			目				
にH 03M L にL 03L			試験地		単 単 林	林地	342	単 密	スギ ヒノキ 他広葉樹	24 24 24	17 16 7	6 6 6	166	244 296 28	269 319 15	110 108 53			S53			中	3 0 3	0 1 0	1 1 1	1 1 1	1 1 1	4 1 4	匍行	暖温帯西	2 0			目				
にH 04M L にL 04L					単 単 林	林地	733	単 密	スギ ヒノキ	20 20	14 13	5 4	95	431 265	600 349	139 132			S57			急	3 0 3	0 1 0	1 1 1	9 9 9	1 1 1	4 1 4	匍行	暖温帯南西	2 0			目				
ほL M L ほL L			保護帯		天 天 林	林地	407	天 密	クロマツ 他広葉樹	73 73	26 12	16 11	289	118 1058	09 53	08 05						急	3 0 3	0 1 0	1 1 1	4 1 4	匍行	暖温帯西	2 0			目						
					合 計	合計	407	密	計 N計 L計	100 100 90	100 100 90	100	1176 118 1058	62 09 53																								

技術開発全体計画

課題	課題番号 41 人工林から育成複層林（天然林型）へ誘導する施業技術の確立（施業指標林設定）				開発期間	平成12年度 ～ 平成41年度				
開発箇所	宮崎森林管理署 野崎国有林239に3林小班	担当部署	森林技術センター	共同研究 機 関	技術開発 目 標	1	特定区域 内 外	○		
現状と 問題点	水土保全を重視した森林施業及び保全技術の確立と、効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の開発が必要である。									
開発目的 (数値目標)	人工林において、間伐を繰り返しながら育成複層林（天然林型）へ誘導することにより水土保全等の公益的機能及び、保育等の効率的な森林保全管理技術の確立を図るために施業指標林を設定する。									
開発方法	1 設定前林況調査 2 試験地設定 面積：2.04ha スギ：1.57ha ヒノキ：0.47ha 3 保育間伐・間伐実施 4 発生広葉樹の保育 刈出し・下刈・除伐等 5 発生広葉樹生長調査 樹種・樹高・胸高径（根元径） 6 林内照度測定 7 試験地表示 全体表示看板1基									
年度別計画 及び経費	12年度	13年度	14・15年度	18年度	20～23年度					
	1 試験地設定 2 保育間伐 3 林内照度測定 (作業実施前・実施後) 4 試験地表示	1 林内照度測定 2 試験地管理	1 枝打	1 1回目間伐 2 林内照度測定 (作業実施前・実施後) 3 植生調査（間伐前・後）	1 発生樹種刈出し 2 下刈 3 発生樹種調査 4 生長量調査					
	25・27年度	28年度	30～33年度	35・37年度	38年度					
	1 発生樹種調査 2 生長量調査	1 2回目間伐 2 林内照度測定 (作業実施前・実施後) 3 生長量調査 4 植生調査（間伐前・後）	1 発生樹種刈出し 2 下刈 3 発生樹種調査 4 生長量調査	1 発生樹種調査 2 生長量調査	1 3回目間伐 2 林内照度測定 (作業実施前・実施後) 3 生長量調査 4 植生調査（間伐前・後）					
	40～41年度									
	1 発生樹種刈出し 2 下刈 3 発生樹種調査 4 生長量調査 5 データ分析									
技術開発 委員会に おける 意見										

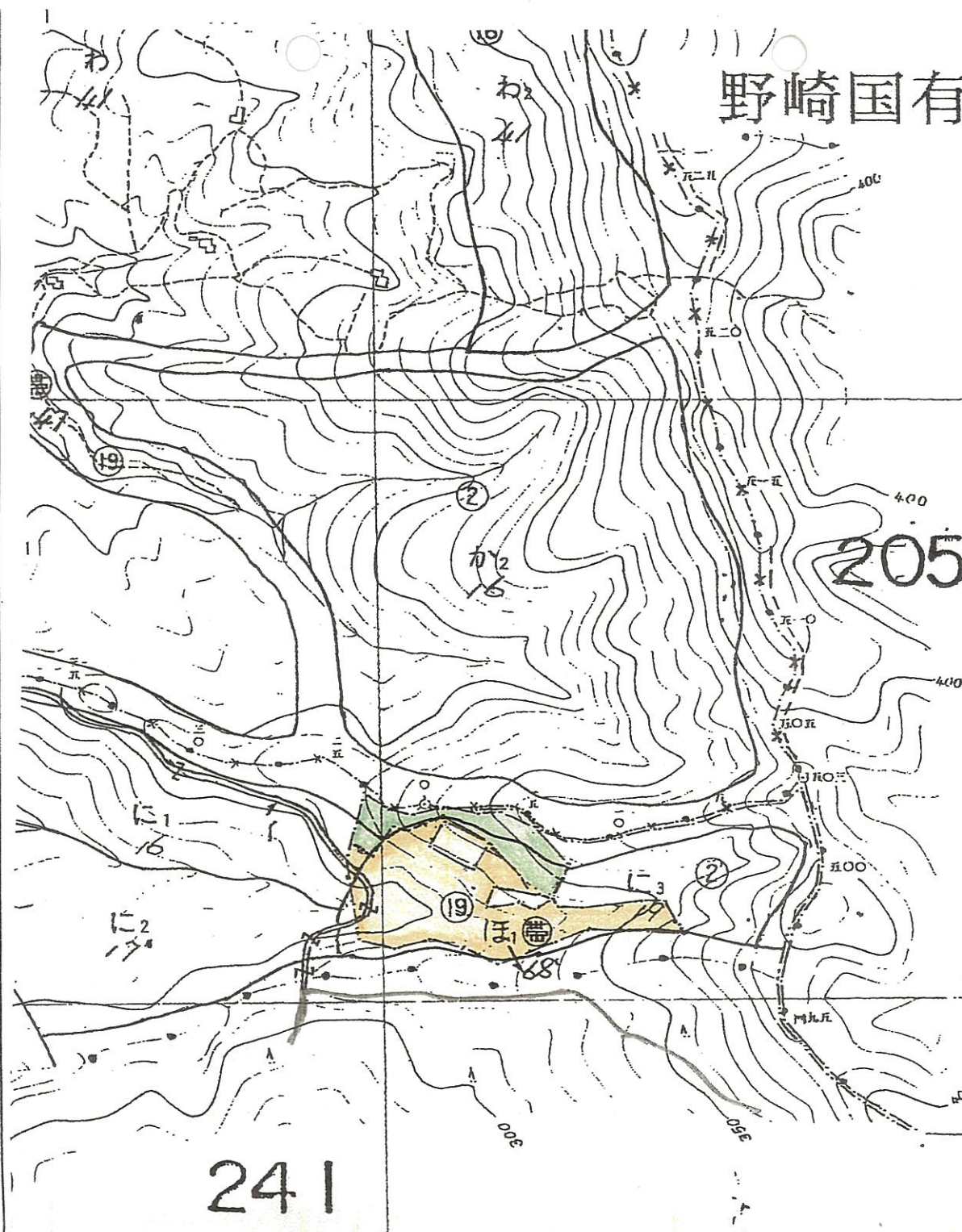
野崎国有林239に3林小班

面積 2.04ha

内訳

スギ 1.57ha

ヒノキ 0.47ha



東諸県郡高岡町
宮崎郡田野町

233①

課題番号 4 1

「人工林から育成複層林（天然林型）へ誘導する施業技術の確立（施業指標林設定）」

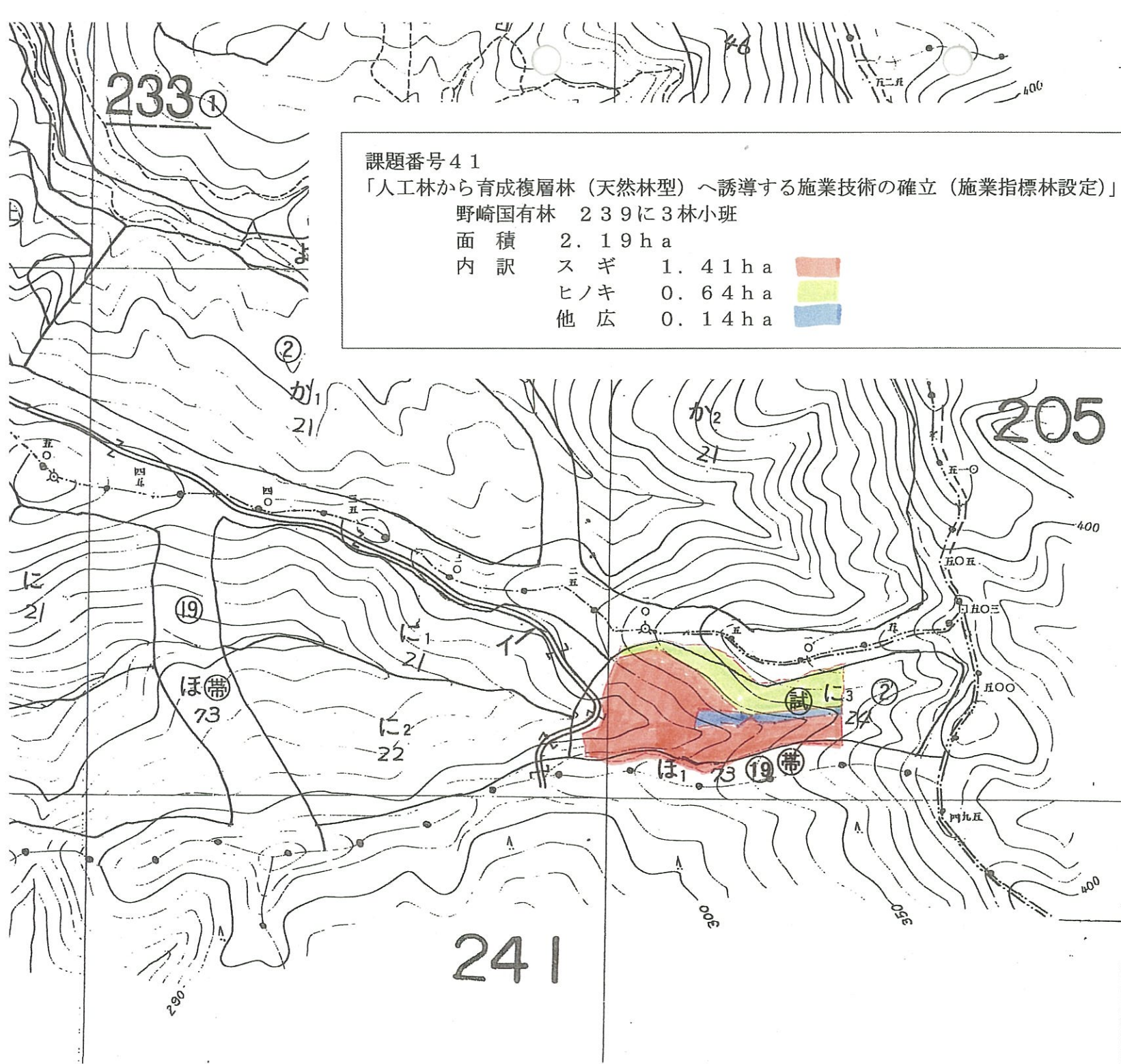
野崎国有林 239に3林小班

面積 2.19ha

内訳 スギ 1.41ha

ヒノキ 0.64ha

他広 0.14ha



東諸県郡高岡町
宮崎郡田野町

233①

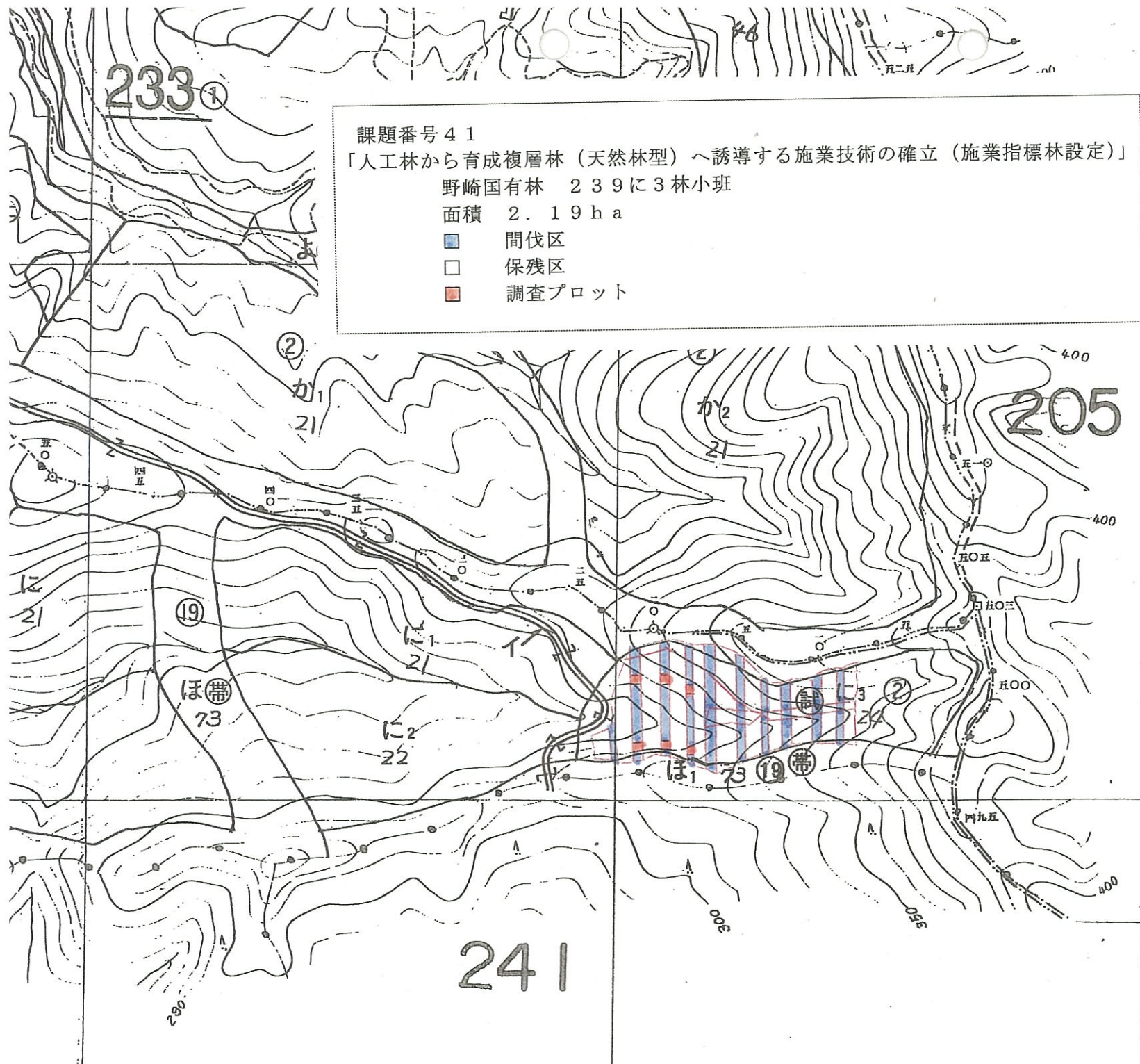
課題番号 41

「人工林から育成複層林（天然林型）へ誘導する施業技術の確立（施業指標林設定）」

野崎国有林 239に3林小班

面積 2.19ha

- 間伐区
- 保残区
- 調査プロット

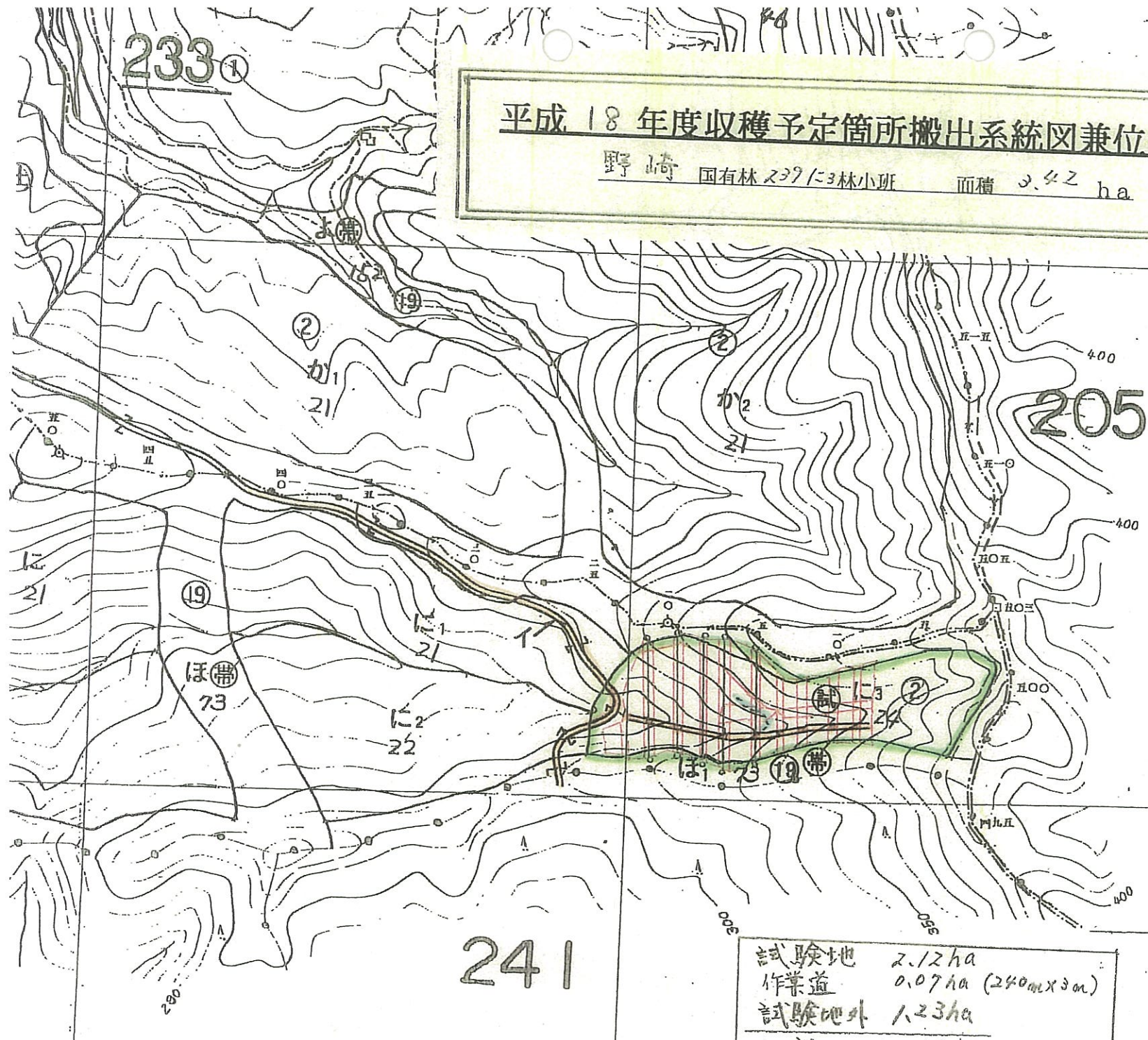


東諸県郡高岡町
宮崎郡田野町

233①

平成18年度収穫予定箇所搬出系統図兼位置図

野崎 国有林 2391-3林小班 面積 2.42 ha



凡 例	
区 域	
集材架線	
中間支柱	
搬出路	
木 寄	
林内車	
盤 台	
林内通勤	

241

試験地	2.12 ha
作業道	0.07 ha (240m x 3m)
試験地外	1.23 ha
計	2.42 ha

東諸県郡高岡町
宮崎郡田野町